

県 令和8年度児童相談所新設～印西市牧の原

県社会福祉審議会の答申を受け、印旛郡市9市町内で児童相談所の候補地選定を進めてきましたが、県は6月、印西市牧の原を予定地とすることを明らかにしました。

●中央児相管轄人口 140 万人 全国平均の2倍

現在、印西市や栄町を管轄する中央児童相談所（以下、児相）は千葉市稲毛区に位置し、電車等の公共交通機関での移動では乗り換えを含め 1 時間以上を要するなど、利便性は決して良くありません。

2019 年に野田市で発生した小 4 女児虐待死事件では、児相の管轄人口の多さが指摘されたところですが、中央児相、柏児相の管轄人口は全国平均の倍以上の 140 万人。昨年 6 月の県社会福祉審議会の答申を受け、松戸市・鎌ヶ谷市所管、印旛郡市 9 市町所管の計 2 か所の児相を新設することが決まったのです。

県が候補地選定にあたり条件としたのは、①数千平米以上の広い土地であること（既存児相の敷地は 3～4 千平米と狭い）、②迅速に整備できるよう未利用の公有地であること、③最寄り駅からの利便性が良いこと、④繁華街から遠くないことなど。条件に見合う候補地として、印西市牧の原の県企業局用地 7 千平米に決まったのだと言います。

●児童相談所建物 住宅地と隣接しないよう配置

東京・南青山での児相新設にあたり、一部住民が反発したことは記憶に新しいところですが、県は、地域への配慮に万全を尽くしたいと話します。全体面積 2 万 7 千平米のうちの 7 千平米を建設予定地としていますが、現地は既存住宅地や今後住宅建設が予定される住宅地に隣接する場所。できるだけ民家に隣接しないように建物を配置（上図の赤字枠内のうちの左下部分に建



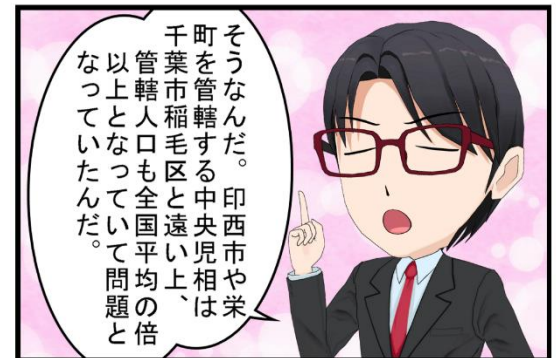
児童相談所の新設予定地(印西市牧の原)

設) することに加え、地域への説明にも時間をかけていきたいとしています。

●日本デキシー跡地も有力な候補地だったはず

問題となるのは候補地選定にあたっての経緯です。印西市が所有する成田線・木下駅近くの日本デキシー跡地は、3 万平米を超える広大な敷地であり、前述の条件を満たす有力な候補地であったことは間違いありません。現に、児相新設に前向きな姿勢を見せる印西市は、このような候補地があることを県サイドに伝えていましたが、県による調整が十分でないまま、今回、落下傘的に決定したのだと聞いています。児相の運営にあたっては、県と地元市の緊密な連携が不可欠なところであり、不必要なしこりが残らないよう、県から地元市への丁寧な説明が求められるところです。

さて、今後は年度内に敷地測量等を実施し 24 年度に着工。2026 年度（令和 8 年度）の開所を目指すとしています。児相は虐待事案対応はもちろん、児童の健康や障害に関する相談等、親と子の問題解決になくならない施設。一日も早い開所を働きかけてまいります。



いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

略歴 1970年(昭和45年)生まれ51歳
専修大卒、早稲田大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 TEL: 0476-36-7799

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



Follow me, please.
ツイッター始めました!

園児
を守る

高花保育園前の青空駐車 取締り強化へ

いわちゃんポスト3月号で取り上げた、保育園周辺の交通安全対策。「園児を事故から守る110番」に寄せられた保護者からの苦情を受け、印西市・高花保育園周辺の青空駐車の問題を働きかけています。

●小学校も隣接「いつ事故が起きてもおかしくない」

お子さんを高花保育園に通わせているという市民から連絡があったのは3月末。集合住宅に隣接する高花保育園周辺は道路幅が狭く、出入口にあたる交差点は見通しも良くないとのこと。特に朝夕の時間帯は保育園への送迎に加え、隣接する高花小学校や同学童クラブへ送迎する車両も行き来するため、周辺道路の交通量も少なくないと言います。

問題は、ただでさえ狭い道路を車庫代わりにして長時間駐車する、青空駐車車両が絶えないこと。登下校時には園児や小学生が多く行き交っており、いつ事故が起きてもおかしくない状況です。

●夜な夜な、駐車場所探しに徘徊する迷惑車両も

早速、現地調査を行った3/31は、午前11時半、午後8時過ぎと、ともに3~4台ほどでしたが、春休みが終わると4/19の午前8時半に8台、5/9の午後4時に9台など徐々に増加。車両ナンバーを記録していくと、朝夕を問わず路上駐車を繰り返す、悪質駐車車両も数台確認す

ることができます。

GW期間には近隣住宅を1軒1軒訪ね、聞き取り調査も行いましたが、「駐車車両により道幅が狭くなって怖い」「深夜になると決まって(車庫代わりに)駐車場所を探す車が出て、しかもその音がかなりうるさい」など、女性を中心に迷惑駐車に困惑する声が多数。「集合住宅ができて以降、25年以上も悩まされ続けてきた」と、根深い問題であることがわかります。



●出入りにくい保育園駐車場の改善も課題

現在、岩井が求めているのが、高花保育園周辺の悪質路上駐車を取り締まり強化。現地は駐車禁止場所ではありませんが、12時間(夜間は8時間)以上、同じ場所に車を停める青空駐車は、通常より重い罰則が設けられています。小学生や就学前児童が多く行きかう場所であることを踏まえ、交差点付近の路上駐車と併せ、県警本部を通じて重点取り締まりを行うよう強く要望しています。

一方で、出入りにくい高花保育園駐車場の改善も必要。高花保育園の駐車場は道路との高低差が大きく、車高によっては車両底やマフラーをこすってしまいます。現地は駐車禁止区間でないこともあり、やむを得ず路上駐車する保護者車両も見受けられるところ。他に寄せられている星虹第2保育園周辺の安全対策と併せ、地元市議会議員と連携の上、改善を働きかけています。

